

1980年代以前は？

広辞苑第六版の「共食」

神への供え物を皆で食べる
ことによって、神と人ま
たは人と人との結合を強め
ようとする儀礼的な食事。

神人共食（しんじんきょうしょく）

- 神への供え物を皆で食べることに
よって、神の加護と恩恵が与えられ
ることになるというような儀式的な
共食

きょうしょく

- 供食（食べ物を提供する）

2020年

新型コロナウイルス感染症の影響下の共食

対面での共食の代替としてリモートやバーチャルの会食
など新しい共食のスタイル

新し解釈（日本固有の食の世界観）

- 一人で食べていても、ふるさとの味や故人から受け継いだ料理は距離と時を超えた共食。
- 目の前に食事が来るまでには自然の産物の材料のもとに多くの人が携わっているのだから、見知らぬ人や自然とも共食の間柄にあり、食べることは全て共食。